

あしたの 街は 私がつくる



2007 第15回 長崎市都市景観賞 作品集

## ごあいさつ



長崎市都市景観賞表彰実行委員会委員長  
田上 富久

2007長崎市都市景観賞を受賞された皆様、おめでとうございます。

心よりお祝い申し上げます。

この賞は、昭和62年にスタートして以来、今回で15回目を数え、市民の皆様の間にも広く定着してまいりました。

これもひとえに、市民の皆様をはじめ、関係各位のご理解とご支援の賜物と、深く感謝申し上げます。

さて、本市は、ここ数年、市町合併に伴う行政区域の拡大や、少子高齢化の著しい進展、都市間競争の激化など、激しい時代の変化を迎えております。このような中、都市の個性を活かし、魅力ある長崎らしいまちづくりを進める必要があります、より快適で美しいまちなみを守り育てていくことが求められております。

これからのまちづくりは、市民力や地域力を活かし、地域に根ざした個性を活かしながら、住民の皆様が思い描いておられる「住みよい、美しいまち」を目指して、市民の皆様と行政が一体となって、まちを守り、育てていかなければならないと考えております。

一方、昨年6月には、「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」が、ユネスコ世界遺産委員会の暫定リストに掲載され、今年はいよいよ本登録を目指すスタートの年になります。

また、最近では、このような歴史的な遺産を含め、多くの資産の価値が、改めて見直されてきておりますが、私達の周りには、価値の高いもので、見逃しているものが、まだまだたくさんあるのではないかと考えております。

今回の受賞作品は、「歴史的文化遺産の継承」という観点から、作品が選ばれておりますが、これは、新たな価値が見出された結果だといえるのではないのでしょうか。

今後とも、この賞の受賞作品を通して、都市景観に対する市民の皆様の一層のご理解を賜りますとともに、長崎の都市の個性を生かした資産価値とは、どのようなものであるかを、ご一考いただく端緒となれば幸いに存じます。

最後に、今回ご応募いただきました多くの市民の皆様や、選考にご尽力いただきました委員の皆様へ、深く感謝申し上げますとともに、今後とも長崎のまちづくりにご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、私の挨拶とさせていただきます。



長崎商工会議所会頭  
松藤 悟

2007長崎市都市景観賞を受賞されました皆様、おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

この賞は、長崎の歴史的・地理的特色を生かした特徴ある景観のほか、周囲の街並みや雰囲気と調和した建物など、洗練された街づくりに貢献しているものを顕彰し、長崎の街並みをより魅力的なものにするために実施しているもので、今回で15回目を迎えることとなりました。

今回の受賞作品は、これまで長崎の景観の魅力を高め、潤いのある街づくりに寄与するなど、長崎を代表する「地域の顔」の1つとして特に優れたものが選考されたものと存じます。

さて、本市では、今年1月にオープンした長崎市立図書館をはじめ、長崎県美術館、長崎歴史文化博物館、さらには女神大橋や出島バイパスなどの社会基盤施設がひと通り整備されましたが、このことで、都市機能が大きく向上するとともに新たな景観が創出されました。これらのハード面の整備による効果と、今後展開される観光施策やイベントなどの効果とが相まって、長崎を訪れる交流人口が一層増加することが期待されているところでございます。

景観は、長崎がより魅力ある街であるための重要な要素であり、魅力的な景観を創造しながら次代に引き継いでいくことは私達の責務であると存じます。本事業は、景観のみに留まらず、長崎の観光資源の掘り起こしやこれまで培われてきた文化などを改めて見直す機会となり、長崎らしく調和のとれた街づくりを促進するとともに、これからの街づくりの指針を示す重要な役割を担うものと考えます。

最後に、長崎市都市景観賞が、景観に対する市民の皆さまの理解や関心を高め、良好な都市景観の形成を促進する上で寄与するものとなることをご期待しますとともに、今回の都市景観賞にご協力頂きました皆様並びに、本事業の実施にあたってご尽力頂きました関係各位、選考委員の皆様へ御礼を申し上げます、私のご挨拶といたします。

## 選考を終えて



長崎市都市景観賞 選考委員長  
**岡林 隆敏**

2007長崎市都市景観賞を受賞された皆様にご心からお祝い申し上げます。

昭和62年から始まった長崎市の都市景観賞は、今年で20年目を迎え、15回目の節目に当たります。本年度の応募件数は各部門合わせて138件あり、この中から部門ごとに4部門の景観賞の候補を選定しました。

世紀が変わるこの20年間は、戦後成長してきた日本の社会が成熟期を迎え、高度成長の時代から成熟した時代に移行する期間でした。このような社会の動きに対応して、長崎市都市景観賞の対象となる建築物も変化してきました。今回の選考から、建築後の年数の基準を無くした関係で、対象となる建物の建築年限が広がり、その結果、昭和戦後期の建物が推薦されるようになりました。戦後に長崎市に建設された優秀な建物が注目され、今後破壊を免れることにつながると思います。一方、“新しく建てられた建築を顕彰し、都市景観にインパクトを与える”という、景観賞の当初の効果が少なくなりました。今後、都市に活力を与える建築を顕彰し、長崎市の都市景観の向上につなげる努力が必要と考えます。

ところで、景観賞の対象建築を評価するため、改めて長崎市の中心部を見て廻ると、長崎の古い建物が建て代わり、長崎の歴史的な景観が徐々になくなっています。その中で、長崎の伝統的な建物をリフォームして現代的な使い方を提案している建物が見られるようになってきています。

歴史ある部門では、これまで対象となったものは戦前期の建物でしたが、今回始めて戦後の建物である、昭和24年建築の「文明堂総本店」が選ばれました。時代を経た築後50年の建築物が歴史的建築物として認められ、戦後の建築物も歴史的建築物になる時代になりました。

テーマ部門では、時代と共に長崎の個性が風化する中で、次の世代に残したい長崎市を代表する町並み景観として、寺町通りが選ばれました。

低成長の成熟の時代を迎え、日本の各地で観光を中心に据えた都市の経営が考えられています。今回は、新しい時代に向けての都市景観と長崎の個性を残す都市景観を根底に置いて、次の時代の長崎市都市景観賞を考える選考になりました。長崎市の合併による市域の拡大、景観法や教会の世界遺産の登録など、長崎の景観を考える骨格が変わりつつあります。このような環境を踏まえ、新たな時代の長崎市都市景観賞の取り組みを考えることが大切でしょう。

## 〔選考委員会〕

座長

**岡林 隆敏**  
長崎大学工学部 教授(土木工学)

委員

**井石 尚子**  
ザ・ながさき編集長(マスコミ)

**太田 格治**

社団法人長崎県建築設計事務所協会長崎支部(建築)

**小野田 新治**

長崎商工会議所 青年部(経済)

**川端 真理子**

ながさきプレス編集長(マスコミ)

**鉄川 進**

社団法人長崎県建築士会 長崎支部(建築)

**中村 信夫**

社団法人日本建築家協会九州支部長崎会副会長(建築)

**馬場 宣房**

長崎新聞社報道本部長(マスコミ)

**松田 正美**

長崎市造園建設業協同組合(造園)

**宮原 和明**

長崎総合科学大学建築学科 教授(建築)

**村里 榮**

長崎市美術振興会役員(写真)

**吉川 國夫**

社団法人長崎県測量設計業協会(測量)



【大きな建物部門】  
親和銀行大波止支店



〔選考理由〕

大波止支店は、建築家白井晟一 58歳のときの作品である。一連の「親和銀行」設計は、頭取・北村徳太郎及び坂田重保の理解のもとに始められた。大波止支店（1962-63）、東京支店（1962-63）の設計を経て、親和銀行本店（佐世保市）Ⅰ期（1966-67）、Ⅱ期（1968-70）、懐霄館（1973-75）で完結する。

1969年「親和銀行本店」の業績に対して、日本建築学会賞、毎日芸術賞が贈られ、1971年建築業界賞、1980年第36回日本芸術院賞も受賞した。これら一連の作品は建築設計を志す多くの若い人達に影響を与えている建物で見学者も多い。

大波止支店は築後45年を経っており、現代建築遺産ともいうべき建物で、その維持管理はもう少し良質の配慮が望まれるゆえんである。どっしりとした重厚なデザインは街並みの中で存在感があり、異彩を放つ。（宮原 和明）

所在地：五島町4番16号

用途：店舗

階数：地上3階

面積：1,088.08㎡

構造：鉄骨・鉄筋コンクリート造  
陸屋根垂鉛メッキ鋼板葺

所有者：親和銀行 取締役頭取 鬼木 和夫  
佐世保市島瀬町10番12号

設計：白井 晟一研究室

施工：金子組・竹中工務店



第15回  
長崎市都市景観賞  
2007

「小さな建物部門」  
BAR猪ノ口屋



〔選考理由〕

無機質なビルの谷間。まるでそこだけが呼吸しているかのように佇んでいるのが、この木造2階建ての建物だ。築約100年、明治後期に建てられた当時は、酒屋を営んでいた主人が引退後の隠居部屋として利用していたという。その後、周りを土蔵に囲まれていたこともあり、戦火に巻き込まれることもなく今に形を残し、2年半ほど前、内装と外装の一部をリニューアル。「くんちの庭見せができるような建物を残しておきたかった」という現オーナーの考えから、昔ながらの造りを残す形で外装はほとんどそのまま、内装は柱などの土台はそのままに斬新なデザインが施され、それまでの酒屋業に加え、レストランとしての営業もスタートさせた。残すためには、それを活かすことも大切だ。

風情溢れる建物が次々と姿を消す中、理想とすべきスタイルがここにあるのではないだろうか。  
(井石 尚子)

所在地：栄町4番11号

用途：店舗

階数：地上2階

面積：324.75㎡

構造：木造瓦葺

所有者：BAR猪ノ口屋 社長 森田 健治

長崎市栄町4番11号

設計：梅元 建治

ホームランスタジオ 深町 知史

長崎市中川2丁目7番14号

設計・施工：有限会社サンワ工務店 代表取締役 山野 潤一

熊本市打越町32番40号

武藤建設株式会社 常務取締役 武藤 剛

長崎市中園町16番17号



第15回  
長崎市都市景観賞  
2007

『歴史のある部門』  
文明堂総本店



[選考理由]

ランドマークは背が高いとか大きいとかいう建物ばかりがそう呼ばれるわけではない。あの店の前でいえば街の人はだれでもわかる、そんな場所も立派なランドマークである。長崎の中心のような場所に建つこの店を、知らない街の人はいないだろう。戦後建てられた建物だが、どっしりとした意匠はビル街の中で百年も前から建っていたかのような存在感がある。

注文をつけるとすれば、西側の大きな看板と車庫、これを考えてもらいたいものである。

(鉄川 進)

所在地：江戸町1番1号

所有者：文明堂総本店 代表取締役社長 中川 安英  
長崎市江戸町1番1号

用途：店舗

階数：2階

面積：690㎡

構造：木造瓦葺



【テーマ部門】

鐘音が響き渡る石垣の続くまちなみ賞「寺町通り」



【選考理由】

長崎市街地が風頭山に接する縁の部分、鍛冶屋町から伊良林町に抜ける通りです。

山側の寺町は皓台寺から禅林寺へとお寺が連なり、町側は諏訪町、麴屋町、八幡町などの長崎の風情を漂わせた町屋が並びます。江戸時代の長崎の情緒を最もよく残した町並みです。晴れた日、雨の日、楠の若葉が爽やかな季節、冬枯れの頃、いつ歩いてもそれぞれの長崎の景色を見せてくれる通りです。(岡林 隆敏)

所在地：長崎市寺町  
長さ：約630m(禅林寺～皓台寺)

代表者：寺町自治会





## 長崎市都市景観賞表彰作品一覧

年度	種別	物件名	所在地	
昭和62年度 (5件)	都市景観建築賞	活水女子大学・短期大学 音楽館・2号館	東山手町1番50号	
		(旧)カロムビル	浜町3番19号	
		フォーレ三原台	三原2丁目24番1号	
		松翁軒	魚の町3番19号	
		中華門	新地町	
平成元年度 (5件)	都市景観建築賞	活水学院楠光寮	新戸町3丁目31番24号	
		小ヶ倉公営住宅	ダイヤランド4丁目9番・10番	
		シーボルト記念館	鳴滝2丁目7番40号	
		堂茶屋から新大工までの電車通り・電気軌道中央柱	馬町から中川2丁目	
		山里小学校	橋口町20番56号	
平成3年度 (5件)	都市景観賞	(旧)川口鼈甲店	浜町7番13号	
		シーボルト通り	新大工町	
	奨励賞	(旧)長崎プリンスホテルポケットパーク	宝町2番26号	
		(旧)泉写真館	川口町6番24号	
		月光スタジオ看板	桜馬場1丁目2番28号	
平成4年度 (4件)	都市景観賞	海星修道院・海星学園図書館	東山手町1番2号	
		矢上小学校現川分校	現川町1912番地	
	奨励賞	小ヶ倉水園(小ヶ倉浄水場内)	上戸町4丁目8番1号	
平成5年度 (4件)	都市景観賞	坂本龍馬之像	伊良林3丁目(風頭公園内)	
		(旧)金子建設株式会社本社ビル	松山町9番18号	
	奨励賞	湊公園	新地町7番	
		県営大橋団地・市営若葉団地	大橋町、若葉町	
平成6年度 (2件)	奨励賞	復元唐船「飛帆」	—	
		長崎県立総合体育館	油木町7番1号	
平成7年度 (4件)	都市景観賞	長崎横尾郵便局	横尾1丁目17番12号	
		(大きな建物部門)長崎電気ビル	城山町3番19号	
	奨励賞	(歴史のある部門)常岡歯科診療所	油木町2番18号	
		(テーマ部門:歴史ロマン賞)龍馬のぶーつ	伊良林2丁目5番	
平成8年度 (5件)	都市景観賞	(小さな建物部門)林兼石油(株)浦上給油所	松山町4番41号	
		(小さな建物部門)三宅脳神経外科医院	若草町3番21号	
		(歴史のある部門)岩永梅寿軒	諏訪町7番1号	
	奨励賞	(テーマ部門:建築エコアップ賞)	賑町パーキングセンター	栄町5番5号
		(大きな建物部門)長崎女子高等学校記念体育館	中小島2丁目	
平成9年度 (5件)	都市景観賞	(テーマ部門:四季プロムナード賞)文教通り	文教町、大橋町	
		(大きな建物部門)長崎科学館	油木町7番2号	
		(歴史のある部門)深堀の石堀群	深堀地区	
	奨励賞	(歴史のある部門)宝製綱株式会社	小曾根町1番39号	
		(小さな建物部門)高野眼科医院	平野町10番3号	
平成10年度 (7件)	都市景観賞	(テーマ部門:ペイサイドシンボル賞)	鮑の浦町1番1号	
		三菱長崎造船所クレーン・ライトアップ	—	
	奨励賞	(歴史のある部門)福砂屋本店	船大工町3番1号	
		(歴史のある部門)児童養護施設マリア園	南山手町12番17号	
		(大きな建物部門)ホテルモントレ長崎	大浦町1番22号	
奨励賞	(小さな建物部門)岩永邸	小江原4丁目18番3号		
	(小さな建物部門)白髭内科医院	片淵1丁目35番18号		
	(テーマ部門:四季プロムナード賞)サントス通り	上野町、橋口町、岡町		
平成11年度 (3件)	都市景観賞	(テーマ部門:自然賞)善長谷教会とそこからの景色	大籠町善長	
		(小さな建物部門)長崎平和記念教会	富士見町21番14号	
	奨励賞	(歴史のある部門)料亭 富貴樓	上西山町5番4号	
平成13年度 (6件)	都市景観賞	(テーマ部門:プロムナード賞)崇福寺通り	鍛冶屋町、油屋町	
		(歴史のある部門)小野原本店	築町3番23号	
		(歴史のある部門)長崎大学経済学部 瓊林会館	片淵4丁目2番1号	
	奨励賞	(テーマ部門:さかみち部門)どんどん坂	南山手町	
		(大きな建物部門)慰めの聖母カトリック城山教会	若草町6番5号	
平成15年度 (5件)	都市景観賞	(大きな建物部門)九州電力株式会社新地変電所	新地町6番10号	
		(大きな建物部門)長崎出島ワーフ	出島町1番1号	
		(大きな建物部門)国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館	平和町7番8号	
	奨励賞	(テーマ部門:建築リニューアル賞)	宿町3番地1	
		長崎総合科学大学人間環境学部棟	—	
平成17年度 (6件)	都市景観賞	(テーマ部門:街角ディスプレイ賞)福砂屋 松が枝店	松が枝町2番43号	
		(大きな建物部門)長崎ペンギン水族館	宿町3番地16	
		(小さな建物部門)八幡町公民館	八幡町3番9号	
	奨励賞	(大きな建物部門)長崎県美術館	出島町2番1号	
		(小さな建物部門)ビストロ・ピエ・ド・ポー	鍛冶屋町4番17号	
奨励賞	(歴史のある部門)増田邸	片淵2丁目18番18号		
	(大きな建物部門)斜行エレベーター	上田町、相生町		
	(テーマ部門:動く風景賞)超低床電車	—		
		(テーマ部門:赤煉瓦塀のあるプロムナード賞)三菱通り	鮑の浦町1番1号	



長崎市都市景観賞表彰実行委員会